



埼玉のぞみの園広報誌

08
2021 summer
NO.32

発行 社会福祉法人埼玉のぞみの園 埼玉県深谷市本田3343 発行責任者 理事長 山崎勝



第II期工事

開放的な食堂



第I期工事

玄関は明るく広く



作業室1 改修前



作業室1 改修後

第III期工事

「深谷たんぽぽ」は昭和58年4月に「深谷市立たんぽぽ作業所」として開所し、今年で38年目を迎えました。その間、地域の皆様を始めとして関係された皆様方のご支援ご協力で今日まで歩むことができて、ありがとうございます。しかし、建物はそれより古く昭和49年に建設されたもので築後47年目を迎えており、従って所々の老朽化は否めずその時々修繕で対応してまいりました。そのため、平成29年度から一級建築士も含めた検討委員会を設置し、建替えも視野に話し合いを続けてまいりましたが、耐震調査や諸々の状況を踏まえて検討した結果、大規模修繕で対応可能との結論に至りました。この結果を踏まえ、令和元年度の玄関回り改修を手始めに、4年間のリノベーション計画と銘打って「明るく広く」をコンセプトとした深谷たんぽぽへ改修を進めております。今年度は昨年度に引き続き本館内部改修を行い、様々な意味でなるべく「壁」を無くした開かれた事業所とすべく、廊下と室の壁を開放できるドアとして廊下までを室とし、広く活用できるようになり、また視覚化のために今までにない色彩を取り入れたり、開設当時の無垢板床材を磨き上げて有効活用するなど、新旧を織り交ぜつつご利用者の皆さんが安全に活躍しやすい環境へと脱皮しつつあります。

(P2へ)

「深谷たんぽぽ」第III期リノベーションを終えて

施設長 榎澤 正範



煩雑化している事務やコロナ禍における新たなコミュニケーションツールとして活用していきます。ありがとうございました。

(春日園 齊藤)

補助金

経済産業省

【サービス等生産性向上

IT導入支援事業費補助金】

施設名 … (福) 埼玉のぞみの園

補助額 … 519,500円

導入内容 … 社会保険電子申請ソフト他

埼玉県

【令和2年度障害福祉分野における

ICT導入モデル事業補助金】

施設名 … 春日園

補助額 … 726,000円

施設名 … 春日園の里

補助額 … 775,000円

導入内容 (共通)

… パソコン機器一式及び

… アクセスポイント設置の

ための配線工事

令和3年4月人事異動のお知らせ

◆ 藤野操主任 (第2春日園はる工房)

異動先: 春日園厨房

◆ 富塚美貴支援員 (春日園)

異動先: 第2春日園

新入社員



【坂入寛進 (さかいり ひろゆき)】

◆ 春日園配属

◆ 趣味、特技

… 音楽観賞、スニーカー集め

◆ 座右の銘… 「一陽来復」

早く仕事を覚え、ご利用者との関係性を築けるよう頑張ります。よろしくお願ひ致します。

スタッフ募集のお知らせ

【募集内容】

◆ 正職員、パート職員、ボランティア
詳細は総務部までご連絡ください

【総務部連絡先】

☎048-594-6511

✉info@nozominosono.jp

～今後の予定～

新型コロナウイルス感染状況により
今後の行事につきましては
順次お知らせしてまいります。

法人行事報告

七夕

7月7日、七夕メニューをお出ししました。メニューは、七夕飾りの吹き流しをイメージしたそうめん、ピーマンの肉詰め、茄子とささみの和え物、ゼリーでした。ご利用者からは、美味しかったとお声をいただきました。次回も喜んでいただけるような行事食にしたいと思っています。(春日園 小野)



オリンピック

6月に世界の料理として「オリンピック開催国」の食事を行事食に盛り込みました。ご利用者はどんな料理が出てくるのか毎日ドキドキしていました。色々な食材や食事に触れる事で食の楽しみに繋げて行きたいと思っています。(春日園 田中)





食品科では毎年、季節の果物や野菜のご寄付を頂いています。これらの食材を使って保存食やお弁当を作り販売しています。売上に繋げ、工賃としてご利用者に還元させることが、自分に出来るお礼の形と思い取組んでいます。この場をお借りし、お礼申し上げます。いつもありがとうございます。

(妻沼つくし作業所 戸井田)



はる工房の弁当班は、ご利用者3名と職員、パート3名でお弁当を作っています。お弁当は、深谷たんぼぼ、第2春日園のご利用者、わくわく(熊谷・本庄)、休園日にはホームにも納品しています。からあげ弁当は人気の商品です。メニューを充実させて、皆さんに喜んでいただけるお弁当を作りたいです。

(第2春日園はる工房 高橋)



深谷たんぼぼの園芸班では食べるバラ(無農薬)を栽培しており、サラダやケーキに大活躍! 食品班では素材にこだわったクッキー4種(たんぼぼコーヒー、きなこ、チョコチップ、オリーブ)とガレット2種(たんぼぼコーヒー、オリーブ)を焼いています。ちょっとした贈り物にもピッタリです!

(深谷たんぼぼ 松本)

授産製品の紹介

社会福祉法人は、社会福祉事業の実践がその主たる目的ですが、同時に地域における公益的な取組を実施する責務が規定されています。法人では、数年前から近隣道路清掃やペットボトルキャップ回収、災害時の作業支援や募金等の活動を実施しておりますが、より地域に根差した活動が求められる時代となりました。深谷たんぼぼでは、3年前から作業の一環として「食用バラ」の栽培に取り組んでおります。最近では市内外の洋菓子屋さんや遠く関西からも、製品のひとつであるフロールウオーターの注文が入るなどしています。深谷市はユリの出荷数日本一が代表するよう、野菜や花卉の栽培が盛んな地域ですが、この食用バラが契機となって地域の方々や深谷たんぼぼに足を運んで下さるようになり、園芸作業ボランティアや地域のポイスカウトの皆さんとの交流などの話が進みつつあります。このように、これからの福祉事業所は地域の中で様々な交流し地域の皆様方と持つ持たれたつ、ウインウインの関係が望ましい関係なのではないでしょうか。来年度は、外周を中心とした第IV期のリノベーション改修最終年となります。広く明るくなった深谷たんぼぼをどのようにして地域に発信していくのか。地域に根差した福祉事業所としていくのか。誰もが立ち寄っていただきたいと思える、そんな福祉事業所とすることが、来年度の大きな課題であり夢なのです。

(P11) (つぎ)

深谷たんぼぼリノベーション計画

1寄付

順不同・敬称略にてご容赦願います。平成31年4月〜令和3年6月 ※令和3年7月1日現在

- 梅澤一夫 大澤美知子
武政さくえ 平野未来
藤原章太郎 寺田優美
加藤芳雄 橋本暁史
梶山貴 佐藤明歩
家永義郎 羽賀真也
茂呂敏行 山崎勝
秋山貴信 渡辺利夫
田沼大輔 久住俊幸
鶴谷豊治 黒澤大
柳田裕子 押田昭浩
野嶋康則 田沼久子
押田望都美 榎澤正範
河田享子 長崎虹輝
長崎宏士 真下武文
滝上正三 加藤聡司
山崎博史 田代信恵
金谷善二 鯨井純子
鯨井昭二 榎澤郷子
鯨井愛乃 中山富美子
岡崎登 里見圭司
東利子 堤一也
田島久雄 松本ミユキ
松浦ヒナ子 小林絹江
羽賀真哉 渡部庄一
海野美紀 宝積寺
しくね育成園 まち美容室
(有)岡崎青果
(株)中央自動車
深谷市手をつなぐ育成会
埼玉のぞみの園家族会
埼玉のぞみの園家族会

寄付額 3,770,764円

たくさんのご寄付ありがとうございます

新人研修



埼玉のぞみの園では、例年新人研修に約半年の期間を設けて社会人マナーや福祉分野の導入、また法人の歴史などを学んでいきます。今年も特に三密を避ける意味もあり、大勢での研修は川本公民館をお借りして実施をしました。新たな取組として、ビデオライブラリーを視聴、障害種別の理解を深めるグループワークをセットで行うなど研修内容の見直しを図りました。(研修委員 齊藤)

ほっと一息「おすすめグルメ」



私がおすすめするのは、「そば遊歩」さん! 隠れ家的な雰囲気の中、十割・玄挽き・粗挽きの3種類のお蕎麦を楽しめます。小柱と小海老の海鮮かき揚げも絶品です!是非一度足を運んでみてください。(広報委員 坂口)

048-575-2827/深谷市園済寺493-1/定休日:水・木曜

夏バテ対策

①エアコンの温度設定を下げすぎない! 28度がおススメ! 室内と屋外の温度差に注意。省エネにも繋がります。

②夏の快眠のためには頭を冷やす! 冷感枕や風邪用の頭を冷やすシートがおすすめ。敷布団の上にシーツや寝ごさを敷いても体感温度が下がりますよ。

③暑くても冷たい飲み物のがぶ飲みはNG 胃液が薄まり消化機能の低下に繋がってしまいます。



④少量でも良質のたんぱく質、ビタミン、ミネラルを摂る ビタミンの中でも特に重要なのは、糖質の代謝を助けるビタミンB。豚肉や穀類、豆類などに多く含まれます。

⑤刺激の強い食べ物を見方にする! 胃腸を刺激すると食欲が増進します。辛いもの香辛料、香味野菜などがありません。

⑥運動や半身浴で上手に汗をかいて体温調整を! 汗をかくと身体の温度調整だけでなく、血流が良くなり、老廃物が出てゆく効果も。涼しい夕方ちょっと歩いてみるなど、適度な運動を心がけましょう。



夏バテ予防のためには、まずはバランスのある食事、もちろん暴飲暴食無し、そして睡眠です。園では、エナジードリンクが話題です。グッと飲み干しガツンと力を入れて今日も一日頑張ると、精をつけています。しかし、お腹はポッコリと主張を始め、いつの間にか嗜好品に変わってしまった一助ではなく、私もお腹を膨らましてしまったようです。私も気をつけたいものです。(第2春日園 新)

深谷たんぼぼの1日

Grid of 6 photos with captions: いただきます! 食堂と廊下の間の壁を取り払い出入口がとーっても広くなり車いすでもラクラク~! 作業開始! 広く明るい作業室で皆さん一生懸命仕事をします。 おはようございます! 事業所の顔でもある玄関はガラリと印象が変わり、皆の元気な挨拶が響きます。 元気の出るカラーが自慢★ 各自で荷物をロッカーに入れて、朝の体操・散歩に行きます。 訓練の時間 訓練室を設け、ご利用者の訓練をするスペースも作りました!! 工賃達成パーティー 行事の時も、写真のように部屋を超えて廊下まで使え広々と行えます。

最後にありますが改修費用は、助成金だけでは難しく、世情厳しい折ではありますが障害福祉のためにご助力頂けます様お願い申し上げます。

このリノベーション計画に伴い現在、4ヶ年計画最後の第IV期工事の会議が進行中です。今後、深谷たんぼほを利用される皆さんに、安全で安心した福祉サービスを提供し、長期にわたる事業所の利用が可能となればと考えております。リノベーション計画の進捗状況をブログにアップしますので是非、ご覧下さい。

第II・III期工事については、3月から5月にわたり大規模な工事で構造上、取り壊せる間仕切り壁を全て取り払い、使い勝手を意識し、広々とした空間作りが可能となりました。これと同時に、今まで壁だった所を大型引戸に変更し、必要に応じて仕切る(区切る)こともできます。壁や天井材を白にした事で清潔感が漂い、また食堂や各作業室の床は板材になっており、これを研磨することによって、新築当初と同等な雰囲気になりました。何より、深谷たんぼほのご利用者、保護者様、お客様から『雰囲気が変わった』『全体が明るくなった』と色々な言葉を頂いております。

第I期工事については、令和2年3月に玄関やエントランスの改修を実施、特に既存のものを生かしながら明るいイメージ作りで白を基調とした躍動感溢れる仕上がりになりました。恥ずかしい話ですが10年ぶりに自動ドアが開閉する所を見ました。(笑)

改修後の施設紹介

課長 長崎 宏士

事業所ニュース

第2春日園



第2春日園でトマトの栽培を開始し、今年で10年となります。事業計画にも記されておりますが今年度は初めてトマトの土の入れ替えを予定しています。経費削減の為、この作業を職員とご利用者で行う予定です。コロナ感染症の影響もあり日程が遅れ7月下旬となる見通しですが、授産事業を主とする第2春日園らしい取り組みとなりそうです。体調管理に十分配慮し、無事完了を目指し準備を進めています。(野口)

春日園



6月23日、春日園でもコロナウイルスのワクチン接種が始まりました。ご利用者・職員ともに前半後半グループに分かれて行ないました。予防接種当日まで不安に思うご利用者もいらっしゃいましたが、川本メディカル沼尻医師や看護師にご協力をいただき、安心して速やかに行なうことができました。接種後は、筋肉痛の症状が数名に見られましたが、その他副作用はなく普段通り生活をされています。(佐々木)

のぞみの園ホーム



この7月、KASUGAに新しい入居者が入り、定員6名の満床となりました。KASUGAはのぞみの園ホームの中で一番歴史のあるグループホームです。平成8年にスタートし25年が経ちました。そして3年ほど前には入居者が女性だけのグループホームに生まれ変わりました。定員6名の中、しばらく4名の時期もありましたが、久しぶりに6名が揃うこととなり毎日賑やかな声が飛び交っています。(新井)

妻沼つくし作業所



つくしの生活介護では、ミニトマト・朝顔・ペチュニアをプランターに植えました。ミニトマトは、可愛く赤く実ったので、ご利用者の皆さんと収穫し美味しく頂きました。朝顔は段々と花が開き始め、毎日様子を見るのを楽しみにしています。ペチュニアはお花好きのご利用者さんと花から摘みや、水やりをしてお手入れを楽しんでいます。皆さんと一緒に花を見ている時間が、癒しの時間になっています。(松岡)

春陽の里



春陽の里では現在個々の特性に合わせて4つのグループで活動してきましたが、グループ大改革を計画中です。先日、介助が多く必要なグループについては職員全員にアンケートを実施し、どんな支援をしていきたいか、どんなところを改善していったらいいのか等検討しています。まずはご利用者を24時間通して見ていく視点と支援の明確化を進めて行こうと思います。(細井)

生活支援サービスのぞみ



放課後等デイサービス部では、試行錯誤中ですが絵カードの導入や個別の自立課題を作成し、ご利用者が見通しを持ち安心して過ごすこと、潜在的な能力を引き出すことに重点を置いています。

外出支援、家事援助と幅広いサービスがあるヘルパー部では滞っていたブログの更新を再開しています。支援の様子や日々の取り組みが皆様に楽しくお伝えできればと思うのでよろしくお願ひします。(萩原)

災害を乗り越えて

理事長 山崎 勝

「私達が命を守るためにしたこと」衝撃的な言葉です。これは2019年台風19号で被災した障害者施設やきの郷が復興までの様々な取り組みを、各事業担当者が綴った本の題名であり、過日本法人に送っていただいた貴重な体験談です。

被害の状況はマスコミなどで報道されていたので概ね理解をしているつもりでしたが、同級生の子からは水没するビデオワークが動画配信され、はるかに想像を超えていました。

そして20年前にも同所は大変な水害にあり作業資材が流されたりと辛い思いをしたことも私の記憶によみがえりました。

紙面の都合上逐一記すことはできませんが、やまびこ製作所は木製パレットの製作を行っており当法人の第2春日園がパレット作業を開始する時には親身になってご指導いただいた関係もあり以後良いお付き合いをさせていただいている施設でありました。

被災後利用者の受入れについて打診を頂いたこともありました。残念ながら距離等の問題もあり当法人を利用する事はありませんでしたが、何かお手伝いできることがあればとは常々思っていました。

それから数か月後、けやきの郷の阿部理事長と伊得施設長が春陽の里にお越しになり、施設を建て替えなければという事で相談をされました。思わず私は「正に災い転じて福となす。あの土地はダメですよ。今が良いところに引っ

この本によりますと、自閉症を持つ人たちの施設設置運動は地元住民の反対(85年当時は施設周辺300mの住民の賛同が必要)のため、6度も設置場所の変更を行った末やっとできた施設であったと言います。要は作れるところはそこしかなかったためであり、今回も移転について検討してきたが他所へ移ることは出来なかったようです。

各位の復興に向けての頑張りには賛辞を贈りたいと思います。ありがとうございます。

